

春の彼岸によせて

平成二十三年三月 大乘寺 住職 岡 光俊

最近若いカタがお経を耳にする機会が少なくなっています。

仕事や勉強、カルチャー教室と走り廻っておられます。生活も本当に大変です。住宅ローンだの学費だのと必要なお金は限りなく増えるばかりです。

知りたいことはなんでもインターネットで。

そのようななかで最近、佛縁ぶつえんの素晴らしさに出会わせて頂く機会がありました。

大学生が友だちを連れて寺にお経の話を聞きにこられました。お経の素晴らしさに感動したお友だちは、是非お経を毎日読んでみたいといわれましたので、お経本をお渡し致しました。

そのときにお友だちは、父親や母親はまったくお経は読んでいないが、愛知県にいる祖父母は毎日欠かさず読んでいるといわれました。祖父母さまはご自身では読んでおられましたが、祖父母さまの子供にあたる、その子の親にも大学生の孫にも一度もお経を読むことを勧めなかったとのことでした。

帰り際、祖父母さまがどのような尊いお経を毎日読んでおられるのか、聞かせて頂いてきて下さい。そして京都のお寺でこのようなお経を頂いてきたよと、ご報告して下さいとつけ加えておきました。

数日後、その友だちが報告にきてくれました、祖父母さまが毎日読んでおられたお経は、私その大学生に手渡したものと同じお経本だったのです。そしてその孫に対し祖父母さまは「だからあなたは何時いも上手くいくのですね、このような素晴らしい佛縁ぶつえんを頂ける子だから」と涙を流して喜んで下さったとのことでした。その大学生もあまりの不思議さに驚嘆と感動で私に報告して下さいました。

このかたも、四月から新社会人として優良企業で東京本店勤務に決まりました。東京で毎日ご先祖さまに経文を届けたいのですがどのさまにすればよいでしょうとの質問に、ご先祖さまの過去帳をお作りになってそれに向かって毎日経文をお読みになるとあなたの経文が必ずご先祖さまに届くことを伝えました。すると早速そのかたはご先祖さまに連絡され、ご先祖さまの多くの戒名を毛書で送ってこられました。早速作らせて頂いているところです。

今回、お孫さまがまったく知らない土地で、まったく知らない人から、ご先祖さまが請い願うお経に出会わせて頂いたことで、このご先祖さまは、この世で最も必要で尊く幸せをもたらすものは佛縁であることを実感されたようです。

お経には不思議な力が無限に込められています。しかしその力を体験できるかたは誠に少ないものです。

それは、皆さまもご存知の昔話、「花咲か爺さん」のお話で諭されているように、私たちは知らぬ間に「意地悪爺さん、意地悪婆さん」になってしまい、佛縁など頂くことができない心となってしまうのでしよう。

春の彼岸 毎日ご先祖さまに手を合わせ、頭を垂れ、尊いお経を読み、六根を浄め、お経の力を一つ一つ頂き「花咲か爺さん」の心を少しずつ持たせて頂き、ご自身の心に子孫の心に春の花を一杯咲かせることができるよう、精進努力していきたいものです。